

説明はさいたまフレンドやみどり愛護会のメンバーが行いました。子供たちは緑地の大切さを興味深く勉強していました。



## 大和田緑地公園特別緑地保全地区で田植を行いました

6月7日（土）見沼区大和田町の緑地保全地区の中にある水田型ビオトープにて田植えを行いました。この場所は斜面林に囲まれた低地で、豊かな湧水が出る湿地でしたが、乾燥化が進み、荒れ地になっていました。このため豊かな里山に戻そうとはじめられたのが谷地再生事業でした。参加者はみどり愛護会の会員他20名、青空のもと、気持ちの良い汗を流しました。



編集後記：みどりのボランティア66号 いかがだったでしょうか。  
活動報告はさいたま市民活動サポートセンターホームページにも掲載しております。  
<https://www.saitamacity-support.jp/G0000520/>

これからもより良い広報誌にして行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。  
広報担当 大牧支部 細谷裕士

# みどりのボランティア

NO. 66

2025年7月30日 編集発行：さいたまみどり愛護会

発行責任者 会長 長澤義則

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 さいたま市都市局みどり公園推進部みどり推進課内

ホームページ：<https://www.city.saitama.lg.jp/001/010/019/003/midoriaigokai.html>

## グリーンインフラの重要性が語られました(みどり愛護会総会)

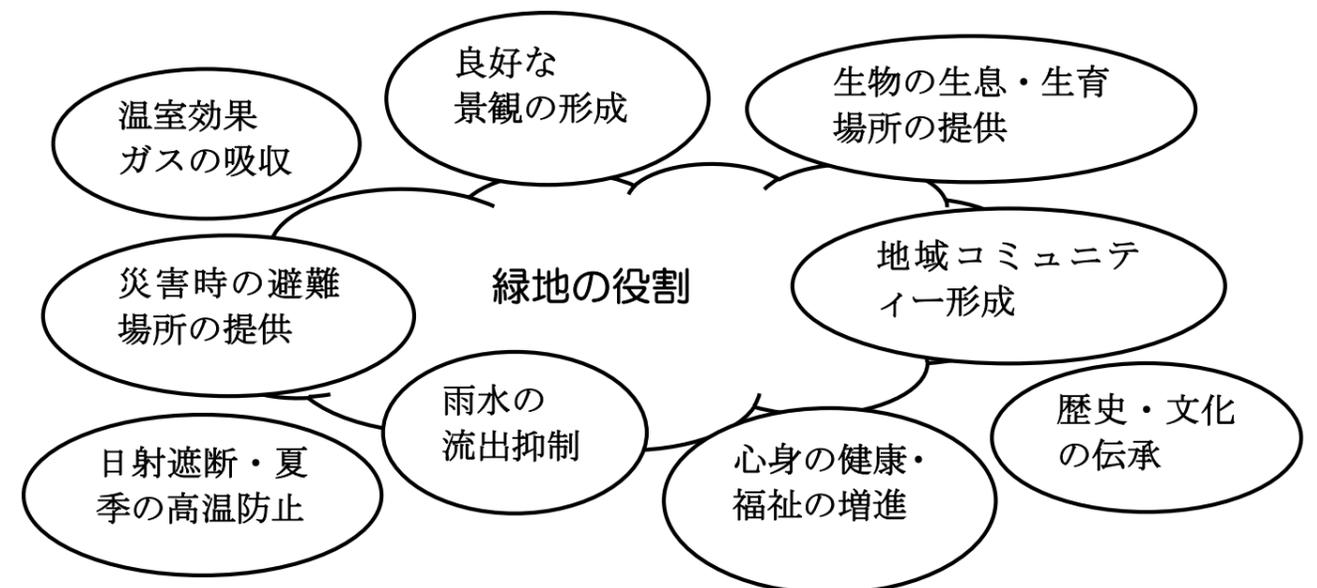
5月22日15時から総会が見沼グリーンセンター会議室で開催され、令和6年度の事業報告、令和7年度の事業計画が話し合われ、令和7・8年度の役員が決まりました。

冒頭、長澤会長のあいさつでは、グリーンインフラという言葉が語られました。グリーンインフラとは、国土交通省によれば「自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方」と言われています。以下に内容を簡単に紹介します。

私たちが活動を行っている自然緑地は、まさに、グリーンインフラの「自然環境が有する機能」を持っている場所で、地球温暖化の防止に役立ったり、ケヤキ（腰高直径1m）1本で年間3人分の酸素を供給したり、周りに比べ約5℃低いので、夏季は快適空間になったり、がけ崩れや水害を防止し防災に役立ったり、生物多様性をはぐくんだり、人々に癒しを与えたりします。



緑地の機能には図に示したようないろいろなものがあります。(次ページに続く)



(会長あいさつ内容)

緑地の草木は、日々成長し続けます。日常管理しないと、緑地は荒れ放題となり、人も入れない状態になります。そのため、常々、草を刈り、枝を落としたりする必要があります。

保全活動をする上では、①保全管理をする人員を確保すること、②活動を通して保全管理技術・ノウハウを継承すること、③予算を確保してもらい、作業しやすい環境を整備すること、が必要になります。今後の目標としては、①各区に一つは自然緑地を設け、活動する場所を確保する、②グリーンインフラの内容についても説明資料を作り、一般の皆さんの理解を深めていく、③カシナガキクイムシの被害防止のため、各緑地で伐採作業が進められているが、そのあと幼木を植え、緑地更新をはかる必要がある、ということが挙げられます。会員の皆さま、よろしくお願いいたします。

次に、来賓としてお見えになった小山みどり公園推進部長のごあいさつで、昨年のみどりの祭典や椎茸のコマうち、竹林保全などの活動について感謝を述べられました。

次に、川名みどり推進課長から担当者のご紹介がありました。

本年度のご担当は佐久間課長補佐、上條技師です。

その後、各議案について審議があり、すべての議案が承認されました。今年度の予定を示した第3号議案の概要は以下のとおりです。皆様のご参加をお待ちしております。

【第3号議案】令和7年度事業計画

実施日	事業名	事業内容	開催地
4月17日(木)	竹林保全作業	竹林保全活動 筍ご飯試食	西新井ふるさとの 緑の景観地
5月22日(木)	総会		市民の森
10月8日(水)	竹林保全作業	古竹の整理	中尾自然緑地
10月9日(木)	竹林保全作業	古竹の整理	西新井ふるさとの 緑の景観地
10月19日(日)	さいたま市みどりの祭典 2025	緑地保全とみどりの啓発 ・どんぐりの里親になろう ・草木グッズづくり ・緑地等の紹介パネル展示	市民の森
11月5日(水) 11月6日(木)	竹林保全作業	古竹の整理	西新井ふるさとの 緑の景観地
2月21日(土)	雑木林体験	保全作業 椎茸種コマうち	大和田緑地公園特別 緑地保全地区
春～秋	谷地再生事業	ため池の水張、床づくり、 代掻き、畦の修復、草刈、 野草の育成	大和田緑地公園特別 緑地保全地区
通年	広報活動	・会報「みどりのボランティア」発行 (年2回程度) ・「さいたま市市民活動支援センターさぽっと」 ホームページにて活動の紹介	

活動報告

中尾自然緑地で春の竹林保全活動を行いました

4月20日(日)みどり愛護会中尾支部の活動です。中尾支部は中尾自然緑地、中尾第2自然緑地(2か所で面積約6600平方メートル)を担当しています。この緑地は、広葉樹林の他に、比較的広い竹林が特徴です。

竹林の管理では、竹と竹の間隔を「傘をさして通れるくらい」にしておく必要があります。

春に成長する筍は、そのままにしておくと、10日ほどで竹になり、その結果、竹と竹の間隔が密集し、竹林は暗くなり、竹林の環境が悪化します。

このため、みどり愛護会会員約30名による、筍の間引きを行いました。



小学3年生が総合学習で大和田緑地公園特別緑地保全地区を見学しました

5月7日(水)五月晴れの中、大宮東小学校の3年生約120名が緑地を見学しました。



8班に分かれて、緑地の中にある池、湿地などを見学し、植物や両生類、昆虫などの説明を聞きました。